

333-C地区 1R2Z



URAYASU LIONS CLUB

獅子吼

41th 2012.9 No.79



浦安ライオンズクラブ

浦安ライオンズクラブの奉仕活動

浦安ライオンズクラブの奉仕活動

青少年健全育成活動

- ・薬物乱用防止教室の開催
- ・薬物乱用防止キャンペーンの実施



環境衛生活動

- ・献血活動
- ・アイバンク献眼推進活動



2012～2013年度 浦安ライオンズクラブスローガン

『繋げよう明日の輝きに、一人一人の地道な一歩で』
—— 明るく・楽しく・元気にウィサーブ ——

会長挨拶

浦安ライオンズクラブ
第41期会長 L 高梨 良茂



東日本大震災から1年半になろうとしています。復興・復旧は思ったほど進まず、被災を受けた皆様のご不便な生活を余儀なくされていることに對しあらためて心からお見舞い申し上げます。

浦安市においても液状化により大変な被害を受けました。市長をはじめ関係者の皆様のご努力により復興の足取りも早く、市内も大分きれいになりました。

しかしながら、本格的な復興はこれからと聞きます。またこのような災害にあわない町作りをしていく必要があります。我々ライオンズクラブといたしましても真摯にご協力してまいりたいと考えております。

さて、我がライオンズクラブもお陰様で、昨年40周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援おかげと感謝の念でいっぱいです。

ライオンズクラブは愛情に包まれた奉仕活動だと思います。明日が今日よりも少しでもよくなるよう、我々一人一人が地道な活動を続けてまいりたいと思います。

どうかこの獅子吼を手にとされる皆様、浦安ライオンズクラブの明るく・楽しい・元氣な奉仕活動にご参加いただけないでしょうか。

今年が50周年に向けた最初の年です。地域に根を張った奉仕活動を続け、明るい未来を少しでも手中できたらとの思いで頑張ります。どうか今後ともご支援ご協力よろしくお願いいたします。

社会福祉活動

- ・盲導犬支援募金活動
- ・災害支援募金活動



支援アクティビティ

- ・社会福祉協議会
- ・浦安市スカウト連絡協議会
- ・手をつなぐ親の会
- ・浦安市少年野球
- ・浦安青年会議所 青少年事業
- ・盲人留学生交流会
- ・市内盲導犬育成支援
- ・千葉県アイバンク協会



「新生浦安」に向けて

浦安ライオンズクラブは、昭和47年4月に発足されて以来、社会福祉活動をはじめ、環境衛生活動、青少年健全育成活動など地域に密着した様々な活動にあたっていただき、浦安の発展に大きく寄与されております。ここに心より深く感謝申し上げます。

本市では、平成24年度を震災からの「復興元年」そして「新生浦安」のまちづくりに向けたスタートの年と位置付けております。社会情勢を的確に捉えながら、行政と地域が一丸となって新生浦安市の再興を目指してまいります。そして、必ずや、震災前よりも、住んでよかった、住み続けてよかったと市民の皆様から言われるまちづくりを行っていく決意でいます。

浦安ライオンズクラブの今年度のスローガンが『繋げよう明日の輝きに、一人一人の地道な一歩で』一明るく・楽しく・元気にウィサーブーとのことですが、これまで以上に心をひとつにいただき、浦安の復興、そして新生浦安の実現にご協力くださいますようお願い申し上げます。

最後に、浦安ライオンズクラブのさらなる発展と、会員皆様のご活躍、ご健勝を心から祈念いたしましてご挨拶いたします。

浦安市長 松崎 秀樹 様



薬物乱用防止教室の開催

浦安ライオンズクラブでは、「薬物乱用防止運動」の一環として、市内小中学生を対象に向け「薬物乱用防止教室」や「薬物乱用防止キャンペーン」を開催し活動を行っております。「薬物乱用防止教室」は、薬物乱用防止教室認定講師のメンバーを中心に(当会現在10名の有資格者)に、浦安警察署のご協力をいただき、市内小中学校にて各学校からの依頼を受け実施しております。

日の出小、北部小、明海南小、高洲小、浦安小、富岡小等の6年生とその保護者を対象に開催しています。2011年7月6日の富岡小におきましては、初めての試みで6年生向けとPTAの方々向けの2部構成で開催、40名を超えるPTAの御父兄の参加を頂き、ライオンズクラブの寸劇にもより一層力が入りました。

この様に、今後もより多くの学校にて本教室の開催を広げ、より多くの青少年に対し、正しい知識を学んでいただければと願っております。開催のご要望がありましたら、クラブ事務局までご連絡ください。



薬物の怖さを伝えるDVDによる学習



薬物がどのようにして皆に近づくかの寸劇



「浦安鉄筋家族」の著者である浜岡賢次様のご協力により作成した教室用クリアファイル。2012年4月に新バージョンを作成しました。

「教室に参加した学校からの感想」

<富岡小学校養護ご担当の先生より>

先日は、お忙しい中、薬物乱用防止教室にお越しいただき、ありがとうございました。今年で3年目を迎え、学校行事として定着してきており、大変うれしく思っています。

残念ながら今年度は保護者の参観が少なくなりましたが、ほけんだよりにて子どもたちの様子を知らせることにより、薬物乱用防止教室について家庭の理解を得られるように努めていきたいと考えています。

別紙のとおり、参加児童の感想を見てみると、やはりDVDでみた薬物の体に与える悪影響が印象的だったようで、薬物の怖さを再認識できたようです。また、寸劇を通して、「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、誘惑に負けない強い心を持つことが大切なのだと気づかされたようです。

残念ながら、今回欠席した児童がおり、その児童にもDVDを見せてあげられたらよかったなと思います。

警察との調整、小道具の用意など本当にいろいろとお世話になりました。当日はたくさんの方がお出でくださり、地域のかたがたが見守ってくださっているということが、子どもたちにも伝わったのではないかと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<富岡小学校6年生の感想>

- ・薬物乱用防止教室では、薬物乱用の恐さ、薬物を売る人たちの誘惑の言葉などを教えてくれました。薬物は脳をおかししたり、胃などを傷つけたりします。そんな薬物を持っている人が心配です。そんな人を増やさないために、この教室があり、「ダメ。ゼッタイ。」という合言葉があると思いました。これからは薬物を見つけたら、警察に連絡しようと思います。
- ・シンナーや覚せい剤、大麻などの恐ろしさがよくわかった。また、4つの寸劇で、どのように大麻や覚せい剤などの薬物が自分たちに近づいてくるのかよくわかった。
- ・薬物乱用防止教室に参加して、薬物乱用の恐ろしさがよくわかりました。私はよくテレビで「薬物乱用で逮捕」というニュースを見たことがあります。その人たちは、もうもとの体に戻れないのだなと思いました。自分には関係ないと思っていても、町には薬物乱用の入り口がたくさんあります。でも、その入り口に入らないためにも、「ダメ。ゼッタイ。」の合言葉を忘れずに、健康な体でいきたいと思います。
- ・薬物乱用の恐ろしさがよくわかりました。これから薬物の誘惑に負けないよう「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉にがんばりたいと思います。

Message

「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師資格」を取得

浦安ライオンズクラブでは現在9名の薬物乱用防止教育ゴールド認定講師の資格所持者がおります。

今後も更に地域の各学校、施設等から依頼された「薬物乱用防止教室」に積極的に参加し、青少年や地域社会の健全育成を図り「薬物乱用防止活動」の一層の普及と向上を実現することを目的とし取組を進めます。



薬物乱用防止キャンペーン

「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止キャンペーンを、2010年10月16日浦安市民まつり会場にて開催しました。薬物乱用防止に関する正しい知識が容易に理解できるよう工夫されたキャラバンカーを展示し、車内の標本や模型、3D映像、ゲームなどを見学、体験してもらいました。



愛の献血運動

献血は、尊い命を救う一人一人の崇高な精神と、多くの方々の善意によって成り立っております。全国のライオンズクラブにおいて献血運動を展開しておりますが、千葉県では県内の献血量の約14パーセントを、県内クラブの献血活動により確保しております。浦安ライオンズクラブでは、千葉県赤十字血液センターと協力し献血バスを年3回ほど配車し、多くの献血協力者を募ってまいります。

年度	採血量
2003年	44,800ml
2004年	71,800ml
2005年	65,400ml
2006年	53,800ml
2007年	66,000ml
2008年	64,000ml
2009年	57,000ml
2010年	40,200ml
2011年	40,200ml

実績累計 3,418,700ml

40期活動実績

2011年11月 東西線浦安駅前

2012年3月 東西線浦安駅前



09年10月28日 日本赤十字社より、長年献血活動実施の功績を称えられ「銀色有功賞」をいただきました。

今期も、3回程度の献血活動を予定しておりますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。

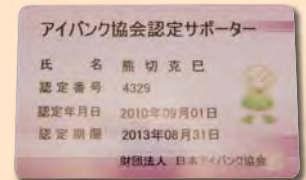
アイバンク献眼推進運動

1925年のライオンズクラブ国際大会に、三重苦の聖女と呼ばれたヘレン・ケラー女史が、ゲストスピーカーとして招かれ、そこで彼女はライオンズクラブに対し「暗闇と戦う盲人のための騎士になってください」と訴えました。以来、ライオンズクラブは視聴障がい者福祉や視力保護の活動に重点を置いております。

日本においてもアイバンク運動をライオンズクラブが中心となり活動を行っております。千葉県アイバンク協会においても、県内ライオンズクラブが中心となり、献眼登録運動やその運営等重要な役割を担っております。

浦安ライオンズクラブにおいてもアイバンク登録運動を展開しております。献眼は角膜移植を必要とされる方々に、ふたたび光を届けることが可能となります。一人でも多くの方の善意とご協力をお願いいたします。

**浦安ライオンズクラブでは
現在5名のアイバンク協会
サポーターがおります。**



アイバンク顕彰碑ヘレン・ケラー像建立

財団法人 千葉県アイバンク協会
常任理事 内田千尋

平成23年6月1日のヘレン・ケラーデーの日にアイバンク顕彰碑ヘレン・ケラー像建立除幕が行われました。

財団法人アイバンク協会は333-C地区が作ったアイバンク協会です。今年で26年に成ります。創立当初から今日まで献眼をご提供いただいた方々が279名おります。その方々を称えと共に後世に伝えておく必要があり顕彰碑を建立致しました。

ヘレン・ケラー像にした理由は、1925年米国オハイオ州セダーポイントでの第9回ライオンズクラブ国際大会の記念講演で、ヘレン・ケラーの「ライオンズの皆さん、この暗闇と戦う盲人のための騎士になって下さい」との歴史に残る名言が会員の心に響き爾来ライオンズに於ける視力保護運動の原点となったのでヘレン・ケラー像の顕彰碑建立と成りました。

建立場所はJR千葉駅東口の広い道を東に向かって行くと千葉中央公園がありその中にあります。

私共アイバンク協会の仕事は盲目の方々に愛の光を与え第2の明るい人生を送ることが出来るよう橋渡しの仕事をしております。

今後共メンバー皆様方のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。



盲導犬支援募金活動

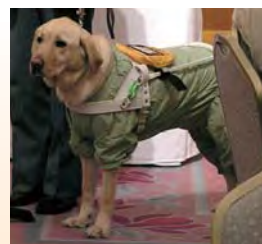


オリオン号、お疲れさま！

お疲れ様 オリオン号

市内初の盲導犬として8年間の仕事を終え引退しました。

現在はボランティアに引き取られのんびり余生を過ごしています。



年度	募金額
2003年	378,103円
2004年	356,097円
2005年	285,863円
2006年	161,187円
2007年	181,060円
2008年	90,209円
2009年	110,545円
2010年	68,470円
2011年	46,022円

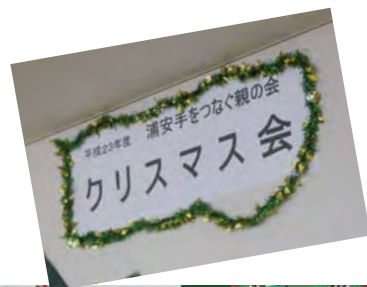
実績累計 3,319,793円

盲導犬協会の募金箱を、市内の事業所に設置し管理を行っております。

浦安ライオンズクラブアクティビティ — 支援アクティビティ —

「手をつなぐ親の会」クリスマス会への支援

浦安市総合福祉センターにて「手をつなぐ親の会」の恒例クリスマス会が行われますが、浦安ライオンズクラブの奉仕活動において、一番永く継続して行われているボランティア活動です。クラブで用意したクリスマスプレゼントを、メンバーのサンタクロースがお一人お一人にプレゼントしております。



浦安市スカウト連絡協議会への支援

社会教育として青少年の成長に貢献しているスカウト運動への支援を行っております。

- ・ボーイスカウト浦安第1団
- ・ボーイスカウト浦安第2団
- ・ガールスカウト千葉県第60団
- ・ガールスカウト千葉県第80団

夏キャンプの状況を報告します

※ボーイスカウト浦安第1団

日程:平成24年8月11日(土)～8月14日(火)

場所:静岡県三島市 三島市立箱根の里青少年自然の家



※ボーイスカウト浦安第2団

今年の夏季キャンプは、各隊独自に実施。

若い年代から、浦安(今川少年の広場)、房総、大菩薩峠、奥多摩～大菩薩峠への移動キャンプ…と、年代に応じたプログラムを展開。日ごろの訓練の成果を試し、大きく成長して帰ってきました。みなさまの応援を感謝いたします。

※ガールスカウト千葉県連盟第60団80団

『生きるが育つ。ガールスカウト』ガールスカウトの「やくそくとおきて」の実践の場として、8月9日～11日までガールスカウト戸隠キャンプ場へ行ってきました。4年に一度千葉県中のガールスカウトが一箇所に集まり泊4日を野外で過ごします。初めて合う仲間と力を合わせてテントを建て、野外調理、様々なアクティビティに挑戦しました。

そこで試されるのは、考える力、行動する力、わかちあう力、かなえる力。

ガールスカウトは少女たちの、そして、女性たちの生きる力を伸ばしていく活動です。さまざまな体験を通じて、新のある心と、なんでもできる力を身につけ、未来を、世界を、ゆたかに生きる力を育てるキャンプとなりました。



Message

東日本大震災における支援活動

災害募金活動

浦安ライオンズクラブと地区ブラザークラブである浦安中央ライオンズクラブと合同で、2011年4月8日メトロ東西線浦安駅前にて、東日本大震災の募金活動を実施しました。



災害義援金の寄付

浦安市に災害義援金の寄付を行いました。
浦安市災害対策本部(浦安市文化会館内)にて、松崎市長に義援金を手渡しました。



募金箱の設置

東日本大震災の災害義援金募金箱を、市内の企業様や商店様に設置をお願いしました。ご協力有難うございます。



ご支援有難うございました

被災地である浦安市に対し、提携クラブである三浦ライオンズクラブ、同地区のブラザークラブである市川ライオンズクラブ、市川東ライオンズクラブより、ご支援をいただきました。



三浦LCと市内災害状況視察

浦安市少年野球への支援

浦安市野球協会学童部では、世界野球大会日本代表予選を兼ね毎年7月に少年軟式野球世界大会(全国ブロック大会)を市内で行っております。野球を通じ青少年健全育成への活動に対し支援を行っております。



盲人留学生交流会支援

「ジュエリーボックス盲人留学生交流会」は盲人留学生が視覚障がいを持ちながら、言葉も文化も異なる日本で、鍼・灸・マッサージなどを学んで自国にもどり、自立を目指す若者たちを励ますことを目的とした交流会です。



「ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体」

ライオンズは、世界の平和と地域社会の幸福を願い、世界中で地域社会のニーズに応えるために活動している、202カ国130万人の国際的なネットワークです。

スローガン

<i>Liberty</i>	自由を守り
<i>Intelligence</i>	知性を重んじ
<i>Our</i>	われわれの
<i>Nation's</i>	国の
<i>Safety</i>	安全をはかる

モットー

1954年採択

We Serve(われわれは奉仕する)

「私」ではなく「われわれ」であるところが、ライオンズクラブの特徴です。皆が力を合わせ人道奉仕を行い、助け合う。そういう組織のモットーです。

ライオンズの誓い

「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」

ライオンズクラブの目的

1917年起草 1919年採択

- ・ 世界の人びととの間に相互理解の精神をつちかい発展させる
- ・ よい施設とよい公民の原則を高揚する
- ・ 地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す
- ・ 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる
- ・ 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない
- ・ 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める





2012-2013年度

国際会長テーマ ウェインA.マデン

奉仕の世界

333-C地区ガバナースローガン L 長澤千鶴子(柏なの花LC)

“手をつなぎ” 咲かす笑顔でウィサーブ！

ライオンズクラブは国際的であり、世界最大の奉仕団体です。現在202カ国と地域、約130万人もの会員で構成されており、日本は世界第3位のライオンズ国です。千葉県(ライオンズクラブ国際協会333-C地区)でも135クラブ、約3,600名のが奉仕活動をしております。

私たちの社会は自分だけでは成り立ちません。世界の平和と社会の幸せを願うライオンズクラブ員は、地域社会の方々の協力を得ながら、労力と時間と賃金を提供し、広く社会福祉に役立つ奉仕活動を行っております。

LCIF(ライオンズクラブ国際財団)

ライオンズクラブ国際財団は、ライオンズクラブの活動を支援するために設立された財団で、ライオンズクラブ国際協会の人道事業に資金を提供してサポートしております。LCIFの交付金を利用することで、ライオンズは個別に行う以上の奉仕を実施することが出来るのです。

LCIFの交付金はすべて献金によるもので、運営費は投資による利息のみによって賄われております。



メルビン・ジョーンズ・フェロー

LCIFへの献金をしたメンバーに贈られる称号です。

2010年 L内田(17回)、L古河(12回)、L丸茂(8回)、
L金子(康)(6回)、L芝田(初回)



2010年8月例会にて
メルビン・ジョーンズ・フェロー伝達 L古河守男(13・14回目)
L小川純一郎(2回目)

浦安ライオンズクラブ活動紹介

第95回国際大会 韓国・釜山

1917年以来、毎年ライオンズ会員が世界中から集まり、国際大会を祝っています。多くのライオンズ会員とその家族にとって大会への出席は毎年の恒例行事になっており、初めての土地を訪れたり異文化を経験する楽しみな機会となっています。

(参加者・L飯盛、L古河、L佐久間、L高梨)



次回は2013年7月 ドイツ ハンブルグ

提携クラブとの交流

エノレカミノライオンズクラブ35周年記念に出席

L内田 千尋

皆さんすでにご承知の通り、私共の1リジョンで姉妹提携を結んでおります米国カリフォルニアガーディナー市にあるエルカミノライオンズクラブが、今年チャーターナイト35周年を迎えましたので、浦安ライオンズクラブを代表してL古河守男、L佐久間清、L丸茂陽一、L内田千尋4名で行って参りました。

4月27日(金)

KOREAN AIRにて14:55予定通り成田を出発

約10時間後現地時間4月27日(金)午前8時50分ロスアンゼルス空港に到着しました。

空港に迎えに来ていただいたのが、ジョー渡利ライオンとジェイムス法条ライオンでした。

宿泊ホテルのMIYAKO HYBRID HOTELまで送っていただきました。車中の会話の中で

ジョー渡利ライオンが大変元気なので、年齢をうかがいましたところ、エイティ・エイト。と言われ、私は、えー88歳ですかと言いましたら、イエース。との答え。私はびっくりしました。いやー、実にお元気なのは驚きました。私は今年で78歳です。それより10歳も年が上なのに本当にお元気でした。アメリカは移動するのには全て車ですから、年齢に関係なく元気なうちは車を運転するのだと実感しました。



4月28日(土)

San PedroのところのPorts O'Call Restaurantと言うところでEL CAMINO LIONS CLUB 35th ANNIVERSARY(周年記念)が行われました。

ご来賓の方々及びメンバーの方々も夫婦同伴でなごやかにとり行われました。

市川ライオンズクラブの吉原稔貴ライオンからお祝いを預ってまいりましたので式典の中で、エルカミノライオンズクラブの会長さんにお渡しし、そして浦安ライオンズクラブからのお祝い金\$1,000もお渡ししました。

お互いに久しぶりにお逢いしましたのでL古河・L佐久間・L丸茂、私共々大変なごやかに会話がはずみました。

4月29日(日)

一日フリータイムと言うことで、4人でRedondo Beach Pierと言うところへ行きました。海岸沿いのところで日光浴をする人、波乗りをする人。レストランで食事をする人、ショッピングする人。など、とてもにぎやかな海岸であり、私たちも写真を撮ったり食事をしたり、ショッピングをしたりと、楽しいひとときを過ごしました。

夜はエルカミノライオンズクラブの方々によるBLACK ANGUSと言うステーキハウスで食事会を開いていただきました。大変楽しい思い出となりました。

4月30日(月)

朝、ホテルからロスアンゼルス空港まで、L法条・L岡本両氏に送っていただき予定通り、4人共無事に帰って参りました。

エルカミノの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。





アジアフォーラム

2011年11月24～27日の間「50回OSEALフォーラム」がフィリピン・マニラ市において開催し、浦安ライオンズクラブのメンバーも参加しました。国際会長を囲んでの晩餐会や、ジャパンレセプションなど多彩なプログラムが用意されて、フィリピンのLCメンバーとも活発な交流が出来ました。

(参加者・L古河、L佐久間)



333C地区 地区年次大会

丸茂Lのピンバッジコレクションを展示しました。



クリスマス例会&納涼例会

毎年7月と12月に開かれ、メンバーの家族交流に役立っています。



40周年記念式典

2012年4月8日東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートにおいて、チャーターナイト40周年記念式典が盛大に開催されました。



「チャリティーゴルフ大会」開催の趣旨

浦安ライオンズクラブ主催のチャリティーゴルフ大会開催の目的は、クラブの各アクティビティ(奉仕活動)に利用される事業予算として、地域社会からの収益としてゴルフ参加者様より事業費をチャリティーしていただくことにあります。その事業費はクラブの運営費に利用するのではなく、クラブメンバーのドネーション(会員の寄付金)とともに、すべてアクティビティのための資金として利用される予算となります。その収益金(事業費)は、クラブ会則により、クラブ運営のために支出することを禁止されていることは、他の奉仕団体とは根本的に異なるところで、この事実はライオンズクラブの誇りとするところです。



毎年恒例の開催としておりますが、厳しい社会情勢、経済環境ではございますが、今後ともさらに当クラブ活動をご理解いただくと共に、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



あなたも「浦安ライオンズクラブ」で活躍しませんか！



ライオンズクラブの会員は、各地域で「仕事をしながら地域に役立つ奉仕活動しよう」と集まった人たちです。

ライオンズクラブでは奉仕活動のことを「アクティビティ」と呼び、一般にボランティア団体では、ある特定の奉仕分野に特化して、専門的に活動されることが多いですが、ライオンズクラブの活動分野は非常に多岐にわたり取り組んでおります。地域社会をよくするために活動を実行し、地域のニーズがあれば何にでも取り組む姿勢があるのがライオンズクラブの特徴です。さらに活動のフィールドも地域を中心に、地区キャビネット、国際協会本部やLCIFを通じて、県内・国内そして国際的にも貢献の場が広がります。

Activities

地域社会の力になれ

青少年の育成や、障がい者への支援活動等、あなたの時間と能力を奉仕活動に活かすことができます。

Friendship

友情で結ばれた仲間

さまざまな奉仕活動を通じて、職業や年齢の違いを超えた多くの仲間と、厚い絆を育むこととなります。

International

世界に広がる組織の一員

ライオンズクラブは国際的なネットワークです。国境を越えた奉仕活動や、世界中の会員同士の交流を経験することができます。

Ability

自分の中の能力を伸ばす

各種活動や行事への参加等ライオンズクラブでは、リーダーシップを磨く実践の場があります。ビジネスの現場でも役立つスキルが身に付きます。

ライオンズクラブは、地域社会の生活、文化福祉向上等の奉仕活動を展開し、世界平和を願う、世界最大の奉仕団体です。社会の役に立ちたいとお考えの方にとり、ライオンズクラブへの参加は最良の選択肢となります。ライオンズクラブの一員となることで、社会に貢献しながら、自分の人生をより豊かに変えることができます。ぜひあなたも「浦安ライオンズクラブ」で奉仕活動を実践しませんか。

ライオンズクラブ発行の広報誌



浦安ライオンズクラブのご案内



浦安ライオンズクラブの歩み

1971/10 浦安ライオンズクラブ結成
1974/10 三浦ライオンズクラブと姉妹提携
1980/2 米国エルカミノクラブと1R姉妹提携
1981/10 第1回チャリティーゴルフ大会開催
1985/5 財団法人千葉県アイバンク協会設立に寄付
1986/6 浦安シーサイドライオンズクラブ結成をスポンサー
1989/4 浦安市100周年記念表彰式参加
1990/1 浦安市とオーランド姉妹都市提携の記念植樹

1993/7 浦安中央ライオンズクラブ結成をスポンサー
1999/5 盲導犬助成チャリティーディナーショー主催
2012/4 浦安ライオンズクラブ40周年記念式典にて、
防犯パトカー寄贈

題字 関根 薫園氏
浦安ライオンズクラブ会報
「獅子吼」初号



浦安ライオンズクラブ誕生の記録

333-C地区 1R 2Z 所属
スポンサークラブ 市川ライオンズクラブ
結成式 1971年10月3日
認証式 1972年4月16日
日本国内で1623番目のクラブとして発足

提携クラブ

- 三浦ライオンズクラブ(330-B 8R 3Z)
- 米国アナハイム市ブラックファーストライオンズクラブ
1982年12月3日 代表L6名 訪米し調印
1983年5月15日 代表L2名 訪日、訪浦し調印
- 米国カリフォルニアガーデナー市
エルカミノライオンズクラブ(4L3) (1R提携)

理事会・例会会場

理 事 会：浦安ライオンズクラブ事務局(浦安商工会議所1F)
第1例会：東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート 第2例会：ホテルオークラ東京ベイ(舞浜)

4 1 期 役 員

会 長 L 高 梨 良 茂
前 会 長 L 小 川 純一朗
第一副会長 L 保戸田 優
第二副会長 L 内 山 昌 紀
幹 事 L 大 塚 恒 夫
会 計 L 飯 盛 保 之
一 年 理 事 L 内 田 千 尋
一 年 理 事 L 皆 川 光 司

一 年 理 事 L 渡 辺 照 雄
二 年 理 事 L 指 田 勝 希
二 年 理 事 L 金 子 康 行
二 年 理 事 L 亀 井 正 博
会 員 理 事 L 丸 茂 陽 一
テールツイスター L 熊 切 克 巳
ライオンテーマー L 白 井 寛 之
副ライオンテーマー L 伊 藤 能 孝



第41期執行部の皆さん

事務局のご案内



〒279-0004

浦安市猫実1-19-36 浦安商工会議所会館内

TEL 047-353-2203

FAX 047-350-0729

E-mail mail@urayasu-lc.jp

URL http://www.urayasu-lc.jp/



WWW.URAYASU-LC.JP